

課題情報シート

課題名： 技能五輪への挑戦
施設名： 東北職業能力開発大学校 課程名： 専門課程
訓練系科名： 生産技術科 課題の区分： 総合制作実習課題 課題の形態： 研究

課題の制作・開発目的

【課題実習の前提となる科目または知識、技能・技術】
力学、安全衛生、設計・製図

【課題に取り組む推奨段階】
機械製図、メカニズムおよび機械加工実習終了後

【課題によって養成する知識、技能・技術】
課題を通して、主に機械設計業務に必要な実践力を身に付ける

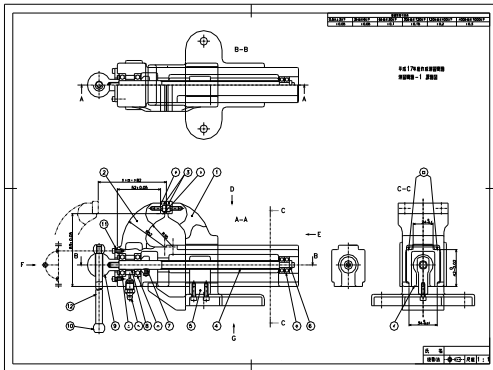
【課題実習の時間と人数】
人数 6人
時間 306時間

新人の機械設計技術者が、最初に実務として行う作業に部品図の作成があります。すでに描かれている計画図を基に部品を抜き出し、寸法、公差、幾何公差、仕上げ記号、注記等記入し部品図を完成させる作業です。この作業を無理なく実行するためには、機械製図、金属材料、材料力学、工業力学、機械要素設計等幅広い知識とそれらを融合した総合的な機械設計の技術力が必要となってきます。その技術力を養うためには集中して図面に向き合う時間が必要であると考えますが、実際に企業では2～3年程のOJTで行っている現状があります。

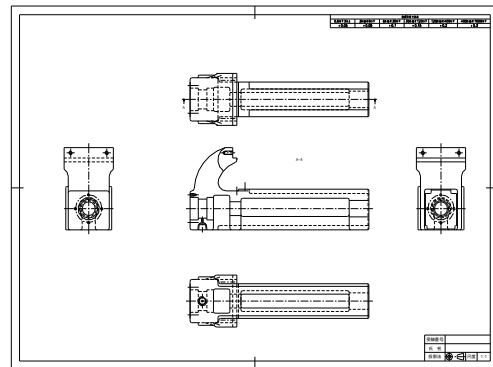
本課題は、技能五輪機械製図職種に出場することを目標と定め、総合的な機械設計の技術力を養うことを目的としました。

課題の成果概要

本課題を通じて、実際の設計業務である部品図の作成が行えるようになりました。同時に機械図面を作成するために必要な機械製図、金属材料、材料力学、工業力学、機械要素設計等幅広い知識とそれらを融合した総合的な機械設計の技術力（新人の機械設計技術者程の能力）も身に付けることができました。



計画図



部品外形図

課題制作・開発のポイントおよび所見

1年間を通して、図面に関する理解度が深まったと感じた訓練が「計画図と部品図の関係を理解するための訓練」です。通常は行われない部品図から計画図を作成する作業方法によって機械図面の表現方法を理解することができたと考えます。

課題に関する問い合わせ先

施設名 東北職業能力開発大学校

住所 〒 987-2223
宮城県栗原市築館字萩沢土橋26

電話番号 0228-22-2082 (代表)

施設Webアドレス <http://www.ehdo.go.jp/miyagi/ptcollege/index.html>